

【ミサを生きる】(5)

※ミサによって生かされるために

(「ミサの鑑賞—感謝の祭儀をささげるために—」吉池吉高 オリエンズ宗教研究所より)

ミサはイエス・キリストを主と信じる人々の信仰の形であり、信仰による集いです。従って、ミサに参加するということは、自分もキリスト者として、イエス・キリストを信じる者であることを具体的に表明する、私たちの信仰告白となるのです。すなわち、ミサに参加することは、私たちにとってイエス・キリストの招きに応える行為となり、私たちが参加するミサは、今なお私たちのうちに現存されるイエス・キリストとの最も確かな出会いの場、出会いの手段となるのです。

イエス・キリストへの信仰を生きる者にとって、イエス・キリストはミサの中で、今も自分たちに語りかけ、自分たちの願いに耳を傾けてくださり、自分たちとともに祈ってくださるのです。そればかりでなく、かつて弟子たちを愛し、その罪を許してくださったように、自分たちのありようのすべてを受け入れてくださるイエスをそこに見出すことができます。さらに、私たちのためにご自分のいのちそのものを投げ出し、与え尽くしていただくイエス・キリストの、愛のうちに包み込まれている自分たちをそこに見出すのです。

このような信仰に立ってミサを受け止めることができるとき、私たちはミサにおいてイエス・キリストによって立ち上がらされ、イエスによって養われ、イエスによって生かされるのです。ミサのうちに現存されるイエスへの信仰がそれを可能にするのです。

ミサに参加することは、私たちのイエス・キリストに対する信仰の行為であり、イエス・キリストに対する私たちの憧れの表明です。この信仰に基づく憧れに生きるなら、ミサの形が表現しているイエス・キリストの私たちに向けられている愛と、それに応えようとする私たちの愛の出会い、愛によるつながりを、素直に大いなる喜びをもって受け入れていくことができるでしょう。

ミサをミサとして成り立たせるものは、私たちの側から考えれば、イエスへの私たちのひたすらなる憧れなのです。この憧れさえあれば、私たちはミサの中に私たちにとってのいのちの泉を見いだしていけることでしょう。ミサの中に込められ、表されているイエス・キリストの私たちに対する想いと、そのミサに与ることによって、表明される私たちのイエス・キリストへも想いが一つに結ばれることを願って、ミサそのものを味わいましょう。

【私たちをミサに呼び集めたイエス・キリストは、集められた私たちの中に、さらには、イエスの行為とことばを現在化する司祭の中に、そして、そのことばによって、指し示されるキリストの体、キリストの血としてのパンとぶどう酒、つまり「聖体」のうちに現存しているのです。】

(「ミサの鑑賞—感謝の祭儀をささげるために—」吉池吉高 オリエンズ宗教研究所)